



No. 32

### 第21回沿海コース集団研修終了

昨年6月1日に開講した第21回沿海鉱物資源探査集団研修は 12月11日に閉講式が執り行われ無事終了致しました。

本年も研修員は それぞれ所期の目標を達成でき 満足のいく研修成果が得られたようで 本研修コースを高く評価していました。これは一重に皆様方の暖かいご支援とご協力の賜であり 研修担当者一同 関係各位に厚く御礼申し上げる次第であります。

本年度の研修については 別途詳しく研修報告書が公表される予定ですので ここではいくつかの研修こぼれ話をご紹介します。

まずは あだ名について。 例年のごとく今年もユニークなあだ名が数人の研修員に進呈されました。その中での今年のヒット作は パチンコ (本名フランシスコ・ブラジル) でしょう。これは本人がパチンコに凝っていたとか パチンコ玉のように飛び跳ねていたとかいう訳ではありません。彼の本名の Francisco は ラテン系では Pancho (パンチャ) という愛称で呼ばれるそうで

す。この Pancho の綴りが巷でよく見かける看板の Pachinco (パチンコ) に似ているところから由来したものです。研修期間中來日したパチンコ氏夫人にも当然のように Pachinca (パチンカ) というあだ名が進呈されました。日本滞在中 パチンコ・パチンカのカップルが御本尊のゲームを楽しんだかどうかは定かではありません。なお このあだ名の名付け親は身長2m トキオ・タワーことグレゴリオ (メキシコ) でした。その他 ウィニー (ウィン・本名に由来) パコ (パク・本名に由来) ゴールド・パジャ (パジャ・個別研修のテーマに由来) などでありました。

研修旅行では 6月中旬に北海道・新潟方面を訪れました。北海道では例年のことながら北海道支所の皆様に手厚いもてなしを受け 石油の探鉱現場 石炭の採掘現場などの見学をさせていただきました。途中 今年 は日本式の旅館に一泊することになりました。量の上の生活 浴衣姿 大広間での会食 どれも全員初めての経験で お互いの浴衣姿を批評しあい 記念写真におさまっていた。大広間での会食では 早速自国の歌 習いたての日本の歌などを披露 途中飛入りのお客さんもあって 楽しくえんかいコースの実習を行うことができました。会食後は皆で大浴場へ行き入浴することになりましたが 人前で裸になった経験のない研修員は多少の戸惑いを見せ とうとう下着を付けたまま入浴した人もいました。最初は湯舟の中に片足だけ入れ 熱いといっちは飛び出していましたが 次第に慣れ 湯舟の中で泳いだり はたまたカメラを持ち込み記念写真撮影 あまりの長湯にフラフラしている人もいました。こうした裸の付き合いを通してコースの中の連帯は 次第に深まり 今年のコースは例年以上にまとまりのあるグループとなりました。

課外活動では 今年も地下水コースと合同でチームを結成し、学園リーグ2部の地調チームにサッカーの試合を挑みました。試合の前半戦は接



戦を演じ好ゲームを展開しましたが 後半戦に入るとおなかの出っばりで足下が良く見えないわがインターナショナル軍団は とうとうスタミナ切れし大敗を喫しました。また 所内レクリエーションのソフトボール大会 白嶺丸乗組員を迎えてのソフトボール大会にも参加しましたがインターナショナルチームには大リーガークラスのホームランバッターもいれば ルールすら皆目という人もいるアンバランスなチームで監督の用兵ミスも手伝って またしても相手チームに自信を与える結果となりました。しかし こうした課外での皆様との交流は 円滑な研修運営上の重要な潤滑剤であり 研修員にとってはまたとない憩いのひと時でもあります。家族と離れて異国での研修生活は 3ヶ月が理想的で それ以上は自分でも信じられないという意見もあり 想像以上に苦勞も多いようで 全員必ず一度はホームシックを経験するそうです。こうした苦勞を乗り越えてくれたのも周囲の皆様のこうした暖かいご助力があればこそと思われまます。この点で 色々の企画にご協力いただいた地質調査所の青年層の方々に深く感謝する次第であります。これからもこうした交流の場を積極的に企画するとともに 研修員の苦勞に報いるためにもより実りある研修を目指してまいりますので 今後とも皆様のご協力をよろしくお願い申し上げます。

(木下)

### 研修員からの言葉

今年度海外室に併任となり はじめて集団研修コースにタッチし アジア アフリカ 中南米など世界各国からの研修員と知合いになりました。彼らとはカンントリーレポート発表や研修旅行 パーティ 休憩時間における談話などを通じて楽しく過ごしてきました。それらのコースも昨年末に終了し 今では彼らも故郷に帰ってしまい なんとなくもの寂しい限りです。けれども 彼らは自国でそれぞれ活躍していることでしょう。

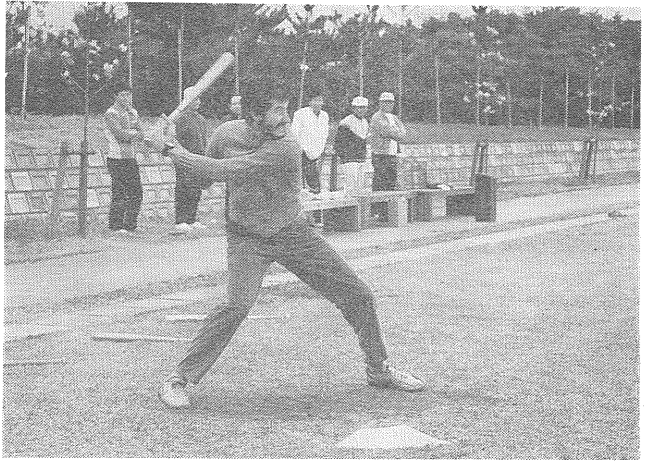
彼らが日本に滞在中の詳細については 各コースリーダーから報告されているとおりです。今回は 彼らが日本を去るに当たって残っていた言葉をご紹介しますと思います。

それは 昨年12月11日に行われた沿海鉱物資源探査コースの閉講式において マレーシアの研修員 イスマイル氏が述べられた言葉です。和訳しますと次のようになります。

こんにちは 皆さん

1987年の沿海鉱物資源探査コースの研修員を代表して

1988年3月号



TBIC の名譽ある所長 GSJ の所長 次長 JICA のスタッフ GSJ のスタッフ TBIC のスタッフ 及び研修コースにご協力くださった全ての方々に対しコース内容を計画し 私達が来日し各々の国に帰るまでの間いろいろとお世話して下さいましたことを 心より感謝してお礼の言葉を述べるためこの場に立つことは 私にとりましてこの上ない喜びと致すところであります。

私がこれからいわんとすること すなわち 特に研修コースに関連したことや日本での日常生活全般に関することに対する私達の感謝 評価 感情などは 昨日 ETC で行われた反省会でほとんどが述べられていると確信するものであります。さらに 同僚のワヤン氏が 昨夜のお別れ会で同じことに関し結論的なスピーチをしております。しかしながら このコースが実り多きものとなるように努められた種々の機関や個人個人に対して 私達の感謝の気持ちを表明する最後のものとして これらの言葉を繰り返したいと思ひます。

まず始めに 本コースを設定して下さった日本政府及び JICA に対して心から感謝の意を表明したいと思います。TBIC 所長の火畑さん 研修担当の服部さん コーディネーターの湯原さん達は 私達の日本における滞在と研修を計画通りに行えるように最善を尽くして下さいました。

私達の受け入れ機関であります地質調査所は 全研修期間にわたって優れた機器を提供し あたたく面倒を見て下さいました。私達はこれに対してスタッフの皆様 特に所長 次長 海外地質調査協力室長 海洋地質部長の方々に 心から厚く御礼申し上げたいと思ひます。

また 研修を滞りなく進められたコースリーダーの木

下博士をはじめ関係者各位に感謝申し上げます。これらの皆様は時には私達のお兄さん お姉さんのように また時には私達のお父さん お母さんのようでした。私達が自国に帰国したら 必ずや皆様がおそばにいないことを非常に寂しく思うことでしょう。

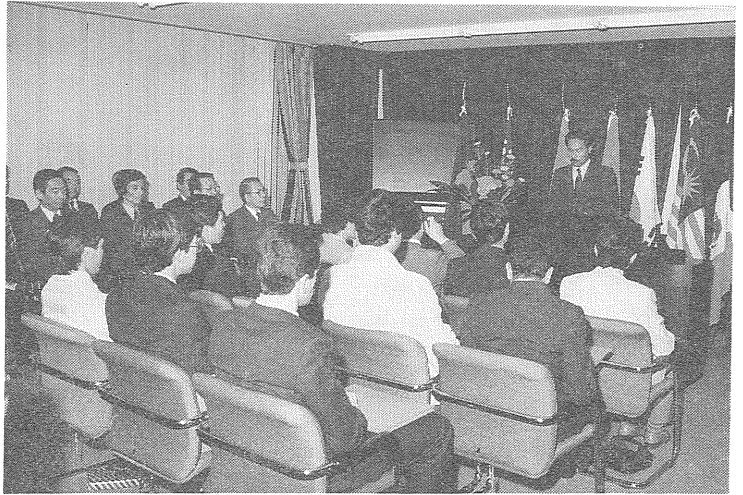
研修期間の最後の二ヶ月は それぞれの指導者について行う個別研修でした。私達は それぞれの専門分野で快くご指導して下さいました。これらの方々にも感謝申し上げます。この7ヶ月の間に 私達はここで地球科学の様々な分野での能力を高める多くの有用な知識を得たばかりでなく多くの友人を得たのです。

研修の間に 多くの場所と機関を訪問する機会がありました。私達はあなたがたの国の美しい風景とすばらしい業績に深い感銘を受けました。それらは神秘的でとても印象的でした。こうした経験は永遠に忘れられることは無いでしょう。

人間として 私達もまたいくつかの間違いを犯したことを認めなければなりません。それらについて 私達はmina-san (原文) にお詫び申し上げます。万事に終わりがあるということは誰もが知っていることです。この研修コースも例外ではありません。この最後の時を迎え 私達は幸福感を感じております。それは自国に戻り愛する人たちに会えるからであります。しかしそれと同時に非常な悲しみも禁じ得ません。私達お互いが別れ別れとなり あなたがたの平和で美しい国を去って行かねばならないからです。私達は世界のどこかで再び より幸福な状況の下にお会いできることを真に望むものです。

最後に 再びグループを代表して私たちすべてが仕事の面でも生活の面でもすばらしい成果が得られるよう祈願致します。全研修員を代表し 私達の挨拶をそれぞれの母国語で伝えたいと思います。

- フランシスコ氏 Muito obrigado
- ウィン氏 Kyezu tin par tai
- リウ氏 She fen gang xie
- ワヤン氏 Terima kasih banyak
- バク氏 Gamsa hamnida
- グレゴリオ氏 Muchas gracias
- パシャ氏 Bohat bohat shukria
- レイ氏 Maraming Salamat
- ラン氏 Kho kun mak



ウミット氏 Cok tesekkur ederim  
そして私 Futaan terima kasih

(注：アルファベットに多少間違いがあるかも知れません)

Iroiro, Domo Arigato gozaimasuta.

Yoroshiku onegaite shimasu. (原文)

大変大変 有難うございました。

閉講式での言葉は以上のご様子でしたが 訳してしまうとその時の声の調子などが表現できなくて 残念ながら彼の気持ちも十分に伝えられなかったかも知れません。けれども 聞いているものにとってはとても感動的でした。ここには紹介しませんでしたけれども研修コースでのスピーチもすばらしく ともに研修員の素直さを感じると同時に 研修を行っているすばらしさを感じたものです。彼らの残した言葉をここに紹介するとともに 今後の研修における皆様がたのご協力とご理解をお願いする次第です。(金井)

地質ニュース

昭和63年3月1日  
編集  
発行人  
発行所

第403号 3月号  
定価 ¥630 千実費  
発行  
工業技術院地質調査所  
林久雄  
株式会社実業公報社  
東京都千代田区九段南4の2の12  
〒102  
Tel. (03)265-0951 (代表)  
振替口座 東京1-32466  
株式会社実業公報社  
出版事業部